



第72回国民体育大会開催基本構想

平成24年1月

第72回国民体育大会愛媛県準備委員会

目 次

はじめに 第72回国民体育大会開催基本構想の策定にあたって	1
第1章 国体の開催に向けて	2
1 国体の目的	2
2 国体の歴史	2
3 国体の改革	2
4 愛媛の風土	3
5 愛媛国体開催の意義	4
第2章 愛媛国体の理念	5
第3章 理念を実現するために	6
基本目標1 県民総参加で「えひめ」の底力を発揮する	6
1 県民運動の推進	6
2 大会ボランティアの育成	6
3 効率性の高い大会の開催	6
4 既存施設の有効活用	6
5 県内全域で競技会を開催	7
6 開催県としてふさわしい成績の獲得	7
7 愛媛国体ひめっこスポーツ大使の任命	7
8 環境への負荷の少ない大会の運営	7
基本目標2 スポーツで活力あふれる「えひめ」を創る	7
1 地域に根ざしたスポーツの振興	7
2 スポーツに参加する機会の充実	8
3 競技力向上対策の推進	8
4 次代につながるジュニア選手の育成	8
5 全国障害者スポーツ大会との連携	8
基本目標3 知名度アップで「えひめ」の魅力を輝かす	9
1 全国から訪れる人々との交流の促進	9
2 愛媛の記憶が残る大会の運営	9
3 ふるさと愛媛の魅力をPR	9
4 地域の一体的な取り組みを通じた住民参加のまちづくり	9
5 積極的な広報活動の実施	10
おわりに 「愛顔 ^{えがお} あふれる愛媛」の実現に向けて	10

はじめに 第72回国民体育大会開催基本構想の策定にあたって

スポーツは、体を動かすという人間の本源的な欲求にこたえるものであり、人生をより豊かで充実したものにすする世界共通の文化の一つです。

また、爽快感や連帯感、達成感が得られることをはじめ、楽しさや喜びを感じながら、体力の向上、ストレスの発散、糖尿病や高血圧といった生活習慣病の予防などを図ることができ、心身の健康の保持・増進に大きな役割を果たすものでもあります。

さらに、オリンピックやサッカーワールドカップなどの国際大会における日本人選手、特に愛媛県出身選手の活躍は、私たちに夢と感動を与えるとともに、日本人、愛媛県人としての誇りや地域の一体感、郷土愛を強く感じさせるなど、明るく活力に満ちた社会づくりにも貢献しています。

国民体育大会（国体）は、戦後の荒廃と混乱の中で、スポーツを通して、国民に、とりわけ青少年に勇気と希望を与えようと開催されたのが始まりです。

その後、関係者の熱意と努力によって、大会は成長を続けながら、国民スポーツの振興及びスポーツ文化の発展に貢献してきました。

そして、今では、スポーツの社会的地位の向上、施設整備や競技団体等の組織・体制の充実のみならず、開催地のPRと地域の活性化などにもつながる、国内最大のスポーツの祭典としての地位を確立しています。

本県では、昭和28年の第8回大会が四国4県で開催されており、県内で開・閉会式が行われたほか、6市22会場において、全28競技のうち18競技の熱戦が展開され、天皇杯9位、皇后杯8位という好成績を収めて、県民に大きな感動を与えました。

平成29年（2017年）に本県で開催される第72回国民体育大会（愛媛国体）は、以来64年ぶり、初めて本県単独で開催される大会であることから、多方面にわたる準備作業を計画的に進めていく必要があります。

また、平成23年3月11日に発生した東日本大震災は、東北地方を中心に甚大な被害をもたらし、国内に様々な影響を及ぼしています。愛媛国体は、国体の原点を踏まえて、勇気、元気、明るい希望にあふれ、私たちの気持ちが被災地の皆様とともにあることを示す大会にしていきたいと考えています。

この基本構想は、第72回国民体育大会開催方針（平成17年11月21日・第72回国民体育大会愛媛県準備委員会総会決定）に基づき、大会の基本目標とその実現のための取り組みの方向性や考え方を明らかにし、大会開催に備えて策定する各種方針・計画、大会の準備や運営のよりどころとなるものです。

第 1 章 国体の開催に向けて

1 国体の目的

国体は、広く国民の間にスポーツを普及し、スポーツ精神を高揚して国民の健康増進と体力の向上を図り、併せて地域のスポーツの振興と文化の発展に寄与するとともに、国民生活を明るく豊かにしようとするものです。

2 国体の歴史

国体は、昭和 21 年（1946 年）に京都を中心とした京阪神地域で開催されて以来、公益財団法人日本体育協会、文部科学省及び開催地都道府県の共同開催で行われる国内最大のスポーツの祭典として、毎年各都道府県持ち回りで開催されており、昭和 63 年の第 43 回大会（京都国体）から二巡目に入っています。

国体の実施競技は、これまで、大会の充実や活性化を図るための見直しが行われてきており、愛媛国体では、各都道府県の代表選手が天皇杯・皇后杯の獲得を目指して行う「正式競技」のほか、「特別競技（高等学校野球）」、「公開競技」、開催地都道府県民を対象とした「デモンストレーションスポーツ」が行われます。

3 国体の改革

国体開催から半世紀以上が経過する中で、国内スポーツの水準が向上し、国際大会への参加機会が増加したことや、国内大会を含め、大会日程が過密化したこともあって、トップアスリートが国体への参加を見送る状況が散見されるようになったほか、経済の長期低迷で地方自治体の財政状況が厳しさを増す中で、開催地に求められる人的・財政的負担感が大きくなるなど、国体を取り巻く環境は大きく変化してきています。

こうした状況を踏まえて、公益財団法人日本体育協会では、平成 15 年 3 月に「新しい国民体育大会を求めて～国体改革 2003～」を策定し、「大会の充実・活性化」と「大会運営の簡素・効率化」の観点から、トップアスリートの参加促進、夏季・秋季大会の一本化、参加総数の削減など、新しい国体に向けた各種改革の取り組みを進めています。

「国民体育大会マーク」

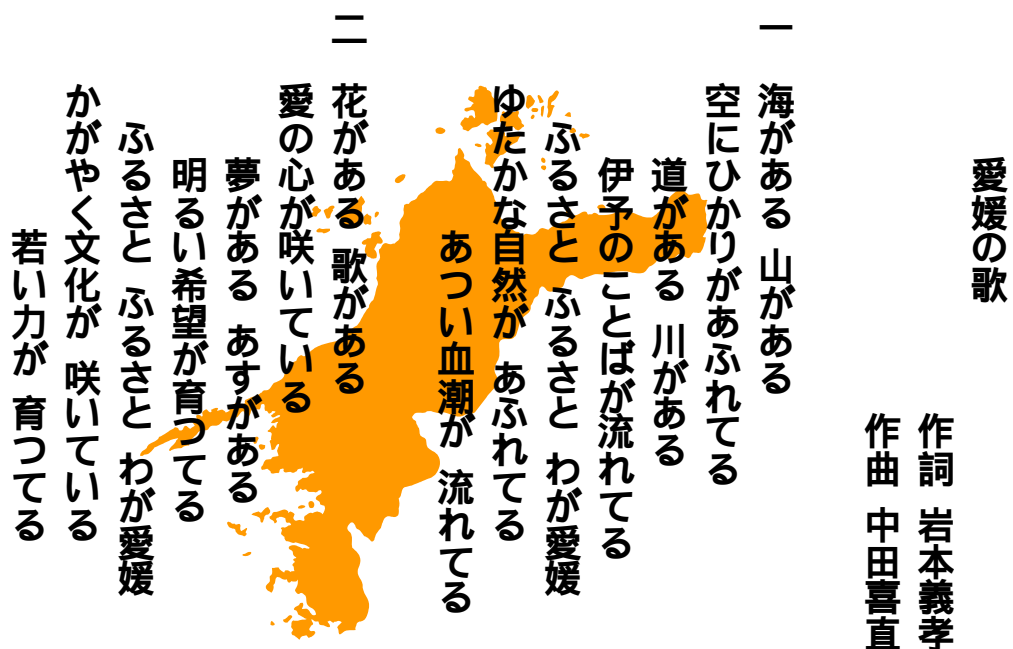


4 愛媛の風土

本県は、四国の北西部に位置し、形状は東西に長く南北には狭く、北には世界でも有数の多島美を誇る瀬戸内海、西にはリアス式海岸が続く宇和海が広がり、南には西日本最高峰の石鎚山と日本三大カルストのひとつである四国カルスト高原を有する四国山地が連なるなど、美しい自然景観に恵まれた地となっています。

また、本県の「愛媛」の名は、古事記に「伊予(いよ)の国を愛比売(えひめ)と謂(い)ひ」と記されていることに由来しており、本県には、古来遍路文化によって培われたお接待の心を受け継いだ県民性と美しい風土や歴史・文化があいまって、訪れる人々に癒しや安らぎを与える魅力があふれています。

この豊かな自然とおもてなしの心にあふれた愛媛の姿は、県政発足100年を記念して昭和48年2月20日に制定された「愛媛の歌」に表現されています。



5 愛媛国体開催の意義

国体は、2万人以上の選手や監督が参加する国内最大のスポーツの祭典であり、全国トップレベルの競技に間近に触れることのできる貴重な機会であります。このような大会を本県で開催することは、次代を担う子どもたちに夢やあこがれ、希望を与えるとともに、多くの県民がスポーツを暮らしのパートナーとして身近に楽しみ、心身の健康増進、家族・友人との絆を深める契機となるものです。

また、本県のアスリートの活躍が、県民の誇りとなり、県内で育ったアスリートを全力で応援することで、県人であることの喜び、地域への愛着と帰属意識が高まるとともに、県民の誰もがスポーツに親しみ、スポーツが共通の話題として地域が盛り上がることで、地域のコミュニティの再生、創造を図ることができます。

特に愛媛国体は、昭和28年に四国4県で共同開催して以来、本県にとっては64年ぶり、初の単独開催となるものです。県民総参加のもと、地域をあげて選手や観客をもてなすなど、全国から訪れる人々との交流を通じた地域の活性化が期待されるとともに、愛媛の自然や歴史・文化など、本県ならではの魅力を全国に発信する絶好の機会であることから、地域ブランドなど本県の認知度を上げ、観光・宿泊客数の増加や県産品の販路拡大など、地域経済の発展にも大いに寄与することが期待されます。

本県県民が先人から大切に受け継いできた、遍路文化によって培われた「お接待」に見られる「他人を思いやる愛」で県民が一つになり、愛媛県民としての誇りをもって大会を成功に導くことを目指します。

第2章 愛媛国体の理念

愛媛国体は、次の5つの理念のもと、これまで先人が築き、我々が受け継いできた歴史や伝統、優れた県民性を礎としつつ、愛媛の未来を拓くため、県民すべての参加と協力を得て、県民がふるさと愛媛に誇りを持ち、愛媛の魅力を全国に発信する晴れやかな大会を目指します。

愛媛国体 5つの理念

県出身の「手づくり選手」が大活躍し、「手づくりスタッフ」が支える

手づくりの国体

県民のスポーツ活動（する、みる、支える）の活性化につながる

実になる国体

既存の施設を最大限に活用するなど、簡素化に努める

身の丈にあった国体

全国からの参加者と県民が民泊等により交流を深める

ふれあいの国体

愛媛の自然や文化等の魅力を全国に発信する

愛媛らしさあふれる国体

第3章 理念を実現するために

「手づくりの国体」、「実になる国体」、「身の丈にあった国体」、「ふれあいの国体」、「愛媛らしさあふれる国体」の5つの理念を実現するため、次の3つの基本目標を定め、愛媛県らしさを生かした様々な取り組みを実施します。

基本目標1 県民総参加で「えひめ」の底力を発揮する

県民一人ひとりが様々な形で結びつき、あらゆる力を結集して、みんなで感動や夢、希望を分かち合える国体の開催を目指します。

1 県民運動の推進

より多くの県民が愛媛国体への理解を深め、様々な形で国体へ参加、協力できるよう、環境美化活動、あいさつ運動、スポーツ活動、国体募金などの県民運動を積極的に推進します。

2 大会ボランティアの育成

より多くの県民に国体を支えていただくため、ボランティア団体及び競技団体と連携して、大会ボランティアを育成するとともに、ボランティア活動を通して、助け合い、支え合いの輪を広げていきます。

3 効率性の高い大会の開催

国体開催には「大会運営」、「競技力向上」、「施設整備」に相応の経費負担を伴いますが、知恵と工夫により、最小の経費で最大の効果を発揮できるよう、県民、企業、関係機関、行政等が連携を密にして、効率性の高い大会開催に努めます。

4 既存施設の有効活用

競技施設は、既存の施設を最大限活用します。

また、施設整備が必要な場合は、国体終了後においても、年齢や障害の有無などにかかわらず、できるだけ多くの人々が快適に施設を利用することができるよう、ユニバーサルデザインや自然・環境に十分配慮します。

なお、県内に国体の開催が可能な競技施設がなく、会場地が未定の競技施設については、新設、仮設、既存施設の改修による整備のほか、県外自治体との連携・協力のもとでの県外施設の活用も視野に入れて、様々な方向から整備手法の検討を行います。

5 県内全域で競技会を開催

実施競技をできるだけ県内すべての市町に分散して開催し、それぞれの競技が地域に浸透することで、より多くの県民が国体に参加できるように努めます。

また、開催地や競技団体等が連携・協力しながら、開催競技の理解や応援環境を整え、多くの観客を集めることで、大会競技者・関係者のモチベーションを高め、大会を盛り上げます。

6 開催県としてふさわしい成績の獲得

県民が手塩に掛けて育てた「手づくり選手たち」が、地元国体で生き生きと活躍することで、県民に夢と感動を与えるとともに、開催県としてふさわしい成績の獲得を目指します。

7 愛媛国体ひめっこスポーツ大使の任命

本県にゆかりのある著名な競技者の方々を「愛媛国体ひめっこスポーツ大使」に任命し、愛媛国体の広報イベントへの参加や強化合宿で指導・助言を行うなど、愛媛国体開催の気運の盛り上げを図ります。

8 環境への負荷の少ない大会の運営

公共交通機関の利用、リサイクル可能な資材や環境にやさしい製品の利用、マイボトルやリユース容器の活用によるごみの減量、太陽光発電、バイオエタノール、バイオディーゼル燃料などのクリーンな自然エネルギーの使用など、環境への負荷の少ない大会を目指します。

基本目標 2 スポーツで活力あふれる「えひめ」を創る

県内のスポーツ水準や県民のスポーツへの参加意欲を高め、様々なスポーツの効用を通して、力がみなぎる人づくり・地域づくりを進めます。

1 地域に根ざしたスポーツの振興

国体開催を契機として、県民の誰もが、それぞれの年齢、身体状況、目的に応じて、主体的にスポーツを楽しむことができるように、その拠点となる「総合型地域スポーツクラブ」の設立やクラブ運営を担う人材の育成、クラブ活動の普及啓発を支援するなど、地域に根ざしたスポーツの振興を図り、地域の活性化を促進します。

2 スポーツに参加する機会の充実

スポーツに関心を持ち、スポーツへの参加意欲を高めるため、スポーツ体験教室の開催、競技選手の学校訪問に取り組むほか、広報誌、ホームページ等の様々な媒体を通して、地元で開催される競技と注目選手の紹介、健康・体力づくりに関する情報等を発信するなど、国体開催を契機として、より多くの県民が身近にスポーツに参加する機会を充実します。

3 競技力向上対策の推進

国体開催に向けて、県内の学校や企業、競技団体等と連携し、競技人口の増加を図るとともに、高度な専門能力を有する指導者の育成や小・中学生から大学生、社会人に至るまでの一貫した指導体制の構築、競技用具の整備等による練習環境の充実により、競技力の向上やトップアスリートの育成に努めます。

また、大型スポーツイベントや社会人スポーツ等の公式戦・合宿を積極的に誘致・開催するなど、競技スポーツの振興を図ります。

4 次代につながるジュニア選手の育成

愛媛国体で中心選手となり、これからの本県スポーツの振興を担うジュニア選手については、トップアスリートの原石であることから、長期的な視点に立って、スポーツの厳しさ、楽しさ、すばらしさを教えるとともに、スポーツ事故や障害を防ぐ、スポーツ医科学を取り入れた効果的なトレーニングを行うなど、国体開催に向けて、次代につながる心技体のバランスの取れた選手を育成します。

5 全国障害者スポーツ大会との連携

国体に続き、全国障害者スポーツ大会（主催：厚生労働省、公益財団法人日本障害者スポーツ協会、開催地都道府県）が本県で開催されることから、両大会の連携を図り、効率的に施設整備等の大会準備を行うとともに、障害のある人のスポーツ活動への理解を深め、すべての人がスポーツに親しめる地域づくりに努めます。

基本目標3 知名度アップで「えひめ」の魅力を輝かす

来県した方々と県民との心温まるふれあいや交流といった、愛媛の魅力にふれる機会を大切にするとともに、ふるさと愛媛のすばらしさを全国に発信して、愛媛の魅力にますます磨きをかけます。

1 全国から訪れる人々との交流の促進

愛媛の豊かな自然や古来遍路文化によって培われた「お接待の心」を持って、全国から訪れる方々との「ふれあい」を大切にしておもてなしを行います。

また、選手・監督が一般家庭等に宿泊する民泊の実施など、住民と選手の温かい出会いと交流を促進します。

2 愛媛の記憶が残る大会の運営

祭り、伝統芸能、俳句などの愛媛の文化・歴史を活かした大会演出や人にやさしいユニバーサルデザインの考え方を取り入れた大会運営、豊かな県産品によるおもてなしを行うなど、来県者や県民の記憶の中にいつまでも残る大会を目指します。

また、国体の文化プログラムとして、展示会、コンサート、郷土芸能の公演等の様々な文化・芸術活動を実施して、より多くの県民に国体に参加いただくとともに、全国に愛媛の文化・芸術活動を発信します。

3 ふるさと愛媛の魅力をPR

国体開催は、愛媛の魅力を全国に発信できる絶好の機会であることから、温泉、文化財、名勝地などの観光資源の紹介、県産品の知名度アップと販売促進、国体観戦を含む観光ツアーの共同企画など、愛媛の魅力を全国にPRします。

4 地域の一体的な取り組みを通じた住民参加のまちづくり

国体開催に向けて、地域が一体となって、開催準備、大会運営、県民運動の取り組みを行うことで、地域の連帯感や郷土愛を深め、住民が誇りを持って、心豊かに暮らすことができる地域づくりに向けた活動を広げるなど、住民参加の魅力あるまちづくりを推進します。

5 積極的な広報活動の実施

国体開催に向けた気運を大いに盛り上げていくため、県、市町、関係機関、企業、NPO、ボランティア団体等との緊密な連携と協力のもとに、多様な媒体を計画的かつ効果的に活用し、積極的に国体の広報を行います。

また、愛媛国体を象徴し、広く県民から愛される「大会テーマ（愛称）」、「大会スローガン（標語）」等を制定し、各様イベント、マスメディアの協力による情報発信等を通して、その浸透、普及を図ります。

おわりに 「^{えが}愛顔あふれる愛媛」の実現に向けて

国体は、国内スポーツ界の中核をなす競技者が一堂に会し、熱い戦いを繰り広げる国内最大の総合スポーツ大会ですが、私たち県民一人ひとりが「する」、「みる」、「支える」といった様々な形で参加することができる大会でもあります。

今後、愛媛国体の周知をはじめ、県民のスポーツに関するボランティア活動への積極的な参加など、県民総参加の国体の実現に向けて気運を盛り上げ、すべての県民が楽しみながら、愛媛らしい、温かく、愛のある国体となるよう、様々な取り組みを進めていきます。

そして、愛媛国体開催で得られた成果を県勢発展のための大きな財産として受け継ぎ、前向きな気持ちから生まれる笑顔と、お互いを支え合う思いやりから生まれる愛とが結実した『^{えが}愛顔』があふれる愛媛の実現を目指します。



第72回国民体育大会開催基本構想

第72回国民体育大会愛媛県準備委員会

事務局：愛媛県企画振興部地域振興局国体準備課内

〒790-8570 松山市一番町四丁目4-2

TEL 089-912-2730 FAX 089-912-2729